



あらゆる賞賛は、アッラーのもの。アッラーは、比べ得る何ものもない唯一者であられる。私は、アッラーの外に崇拝する存在はないことを証言し、また、ムハムマドは、アッラーの使徒であることを証言する。

信者たちよ。アッラーは、クルアーン・洞窟章において述べておられる。

「富と子女は、この世の生活の装飾である。…」(18章 46節)

財産というものは、物という点での意味合いや、それに備わった能力や力という点で見ると大きな恵みである。それは、喜びの種であり、余裕や人生をささえる飾りを生む元である。なぜなら、そのことは、人々の人生がそれによって支えられる大事な手段であり、財産によって人々は、必要な物やサービスを得るものだからである。だが、そのことは即、幸福を得る手段となり得るというわけではなく、究極的な幸せは、自己中心的な目的ではなく、アッラーの御悦びを得ることを目的にお金を使うというところにある。財産がアッラーからの贈り物であり委託されたものであることに気づく日にそのことが分かるだろう。それ故、アッラーは、お金を稼ぐことに努力するだけでなく、生活の為に良い使い方をしなさいと教えておられる。

アッラーは、クルアーン・大権章において述べておられる。

「アッラーこそ大地をお前たちに使い易くなされた御方であられる。それで、各地域へと往来し、その御方からの糧を食べるがよい。そして、復活の時には、その御方に召されていく身である。」(67章 15節)

我々は、自分の財産には、自分だけではなく、他の人々にも権利があることを知らなければならない。財産というものは、自分自身と、家族をも満たすためのものであり、子供たちやその後継者が健全で誇りある生活を支えるものになり得るのである。預言者さま SAW は、述べておられる。「相続人を豊かにして亡くなるのは、貧乏にして亡くなるよりも良いことである。」 浪費して財産を無駄にすることなく、そして、けちん坊な性格によって財産を使うのを惜しむことのないしもべを、アッラーは、御好みであられる。

アッラーは、クルアーン・識別章において述べておられる。

「また、(財貨を) 使う際に浪費しない者。また、けちでもなく、よくその中間を保つ者。」(25章 67節)

聡明で賢明な人は、自分の財産管理に能力を発揮し、調和のある使い方を心得ているものである。そうした人は、現世と来世の両方で幸せの分配を受けられるような良い財産の使い方を心得、子供や子孫のことをも考慮するものである。それ故、借金することには慎重であり、借金して損害を被ることはせず、借金で苦しんだり、子供や孫に借金を残したりすることもしないだろう。一方、そうした人の健全な投資や事業は、成果を生みだし、収入の安定や生活の安定に寄与し、主への献身である喜捨をすることにも寄与する。預言者さま SAW は、述べておられる。「審判の日にアダムの子孫(人々)は、五つのことを問われ答えるまでは動くことがままならない。その



五つのことのの一つは、財産をどのようにして稼いだかということである。」 お金を努力と尽力で稼ぎ、主が御悦びになられるように財産を使う者には、良い知らせがある。そのような者の財産、幸せは増加し、そのような者には進展がみられ、アッラーからの報償はとても大きなものとなり幸福と満足を享受するのである。

アッラーは、クルアーン・鉄章において述べておられる。

「アッラーとその使徒を信じ、その御方がお前たちに継がせられたものの中から、(主の道のために)施しなさい。お前たちの中で信仰して (財産や技能や労力を) 使用する者、彼らには偉大な報奨があろう。」 (57章 7節)

預言者ムハムマド、教友とその一家に祝福と平安がありますように。そして、正当なカリフ、アブーバクル師、ウマール師、ウスマーン師、アリー師と、正しい道に従う者たちに、祝福と平安がありますように。

アッラーよ。努力し稼ぎ、財産をあなたさまの御悦びに添って使う者であるように、御導き下さい。

アッラーよ。預言者さま SAW をお手本とし、預言者さま SAW の祝福祈願をする者であるように、導き下さい。

アッラーよ。あなたさまを愛し、預言者さま SAW を愛する者であるように、御導き下さい。

アッラーよ。何時でもあなたさまを顧みて感謝し、満足を知る者であるように、御導き下さい。

アッラーよ。正しい道を歩む忍耐強い者であるように、御加護下さい。

アッラーよ。私たちの信仰心を強くして下さい。私たちの過ちを御赦し下さい。

アッラーよ。日々の生活に活力と喜びを、そして安心と安全を御与え下さい。アーミーーン